

# 石山・芸術の森地域 石山部会 ニュース

これまで2つの連合会、4つの小学校を一体とした「石山・芸術の森地区検討委員会」として検討してきましたが、より議論を深めるために「部会制」を導入し、石山部会と芸術の森部会に分かれて検討しています。この検討委員会ニュースについても、各部会ごとに発行しています。

## 第2回石山部会について

7月21日（火）午前10時から、石山会館（石山まちづくりセンター）で第2回石山部会を開催し、児童数の推計に関する報告などのほか、前回に引き続き統合校の場所について検討を行いました。

## 石山小学校と石山南小学校の児童数推計について

今後の石山小学校と石山南小学校の児童数推計は下記のとおりです。

	27年度		28年度		29年度		30年度		31年度		32年度		33年度	
	児童数	学級数												
石山小	180	6	178	6	185	6	179	6	182	6	187	6	179	6
石山南小	220	8	219	8	212	7	210	8	209	8	202	7	190	6
計	400	—	397	—	397	—	389	—	391	—	389	—	369	—

※ 特別支援学級を除き、平成28年度以降は校区内に住む子どもが全員入学すると仮定。

## 統合校の場所によるメリットについて

統合校の場所に関して、これまでのご意見等を踏まえたそれぞれのメリットを整理すると下記のとおりです。

	石山小学校を活用した場合のメリット	石山南小学校を活用した場合のメリット
教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>校舎や体育館は新築を想定</li> <li>グラウンドが広い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中連携がしやすい</li> <li>中学校進学時のギャップが少ない</li> </ul>
通学	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの児童の通学距離が2km以内に収まる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生と通学の方向が一致</li> <li>最長通学距離が短い</li> </ul>
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校機能の分散</li> <li>児童会館やまちづくりセンターとの複合化等が検討可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文教エリアの形成</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>基幹避難所が分散</li> <li>歴史的に見ると親学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期に学校規模の確保が可能</li> <li>現状では石山小より児童数が多い</li> </ul>

## 委員から寄せられた 意見など

第2回石山部会では、委員から以下のようなご質問、ご意見がありました。

### ◆質問

- 石山小学校の場所に統合校を設置する場合は、校舎や体育館が新築されるという理解でよいか。

#### (事務局回答)

そのとおりです。

昨年からご説明してきましたとおり、学校統合した場合、現在の石山小学校の校舎では教室数が不足しており、また、施設が老朽化している状況等も踏まえ、仮に石山小学校の場所に統合校を設置する場合には、校舎・体育館の建替えを想定しています。

このため、もし統合校の場所が石山小学校と決定された場合には、速やかに新校舎の設計に入るほか、「地域交流施設」や「児童会館」の複合化も含め地域の皆様にご相談していきたいと考えています。

- 新校舎の設計とのことだが、結論を急いで窮屈な検討になってしまっは意味がない。予算の都合などはあると思うが、子どもたちにとってより良い統合になるようにしっかり検討したり、子どもたちが交流し合ったりといった時間も必要ではないか。

#### (事務局回答)

ご指摘のとおり、統合校の場所が決まったあとも、検討すべき事はたくさんあります。新校舎の完成までに、設計や工事等で3～4年程はかかりますので、その間に、子どもたちの通学や交流事業など、十分に時間をかけて検討していきたいと考えています。

### ◆意見

#### <検討の進め方について>

- 2年ほど前から検討をはじめたが、このような問題は、あまり時間をかけすぎても駄目だと思うので、ある程度意見が出尽くした段階で結論を出していくべきではないか。
- 5年後、6年後を見据え、現在の少人数の中で各小学校が努力を重ねつつ、新設の小学校について時間をかけて準備を進めていくべきではないか。
- 現在の子どもたちの人間関係は非常に複雑になっており、じっくりと時間をかけて検討する方法もあるだろうが、なるべく早くクラス替えなどができる環境にすべきである。
- 両校それぞれにメリットがあり、難しい問題ではあるが、子どもの教育環境を考えれば、いち早く検討を進めていくべきだと思う。
- この検討委員会、部会での方向性は十分見えてきており、子どもにとって地域にとっても納得できる時期に来ているのではないか。

- 石山小学校と石山南小学校の統合は、10年ほど前から保護者の間でも噂になっていたが、これだけ議論されたのだから、一刻も早く新しい小学校をつくるべきではないか。

#### <統合校の場所について>

- 石山南小学校は中学校に近く小中連携も視野に入るが、新築校舎でのスタートは子どもたちにとって重要なことだと思えるので、石山小学校の場所で統合することが望ましいとも感じている。
- 商店街としての立場では、石山南小学校を巻き込んで様々なイベントを行ってきた経緯などから、同校と石山中学校といった文教エリアにしたほうが望ましいと考える。
- 特に交通環境、地域のほぼ中間位置にあることや歩道橋、信号機やバス停留所などの状況を考えると、場所は石山小学校の方が良いのではないか。
- 学校運営を考えれば、校区の真ん中に学校があった方が望ましい。
- 統合で、一方の学校がもう一方の学校に吸収された、というのは子どもたちにとって非常に望ましくない。統合校の校舎が新築されるのであれば、子どもたちも対等な立場で入っていけるので良いのではないか。
- 統合校がにぎやかな地区にできると、一方の地区の治安や活気がなくなってしまう、地域全体としてプラスにはならないのではないか。
- 跡活用がどうなるかにもよるが、仮に石山小学校がなくなると、旧道付近が寂しくなってしまう心配もあるので、石山小学校の場所に新校舎を建て、子どもたちが喜んで通学できるような環境にすべきではないか。
- 石山南小学校の位置の場合、小中連携が充実した「石山文教地区」になりえること、自然環境に対する教育活動が充実していること、地域で学校運営を担える人材が豊富であるといった長所を活かせる。石山小学校の場所に新設校を設置することになった場合も、こうした強みを取り入れていくべきである。
- 重要なのは、統合した後に、子どもや地域、学校が一体となってみんな「新しい学校」を作り上げていくこと。その意味では、校舎の新築というのは大きなメリットであり、新築するという条件付であれば、石山小学校の場所に統合することに賛成である。
- 統合校の場所は石山小学校と決めたとうえで、今後は新設校をどう運営していくのかについて議論していくべきではないか。

#### <その他>

- いずれの学校を活用していくにしても、どちらかの小学校が残る、残らないといった言い方はするべきではない。統合に際しては、子どもたちにとって「一方が吸収された」といったイメージをもたれないように最大限配慮すべきである。

- 現在の石山南小学校区の中には、藤の沢小学校への通学の方が便利な地区もあることにも配慮して欲しい。
- 学校の建替えの際には、まちづくりセンターの複合化なども検討することだったのが、例えば、石山小学校の運動会の際には、PTAが地域の寺院にお願いして駐車場を借りていることから、今後はこういったことにも配慮して欲しい。
- 石山は、市内でも非常に歴史ある地域であり、小学校を新築する際には、こうした地域の歴史の保存についても検討すべきである。
- 検討委員会ニュースについて、同じ色紙だと「前回と同じもの」と勘違いされる恐れもあるので、毎回紙の色を変えるなどの工夫が必要ではないか。

## 第2回の石山部会 における決定事項

このような検討から、第2回石山部会では以下の方針を確認しました。

現在の石山小学校の敷地内に、  
校舎などを新築した統合校（新設校）を  
設置することについて、次回部会で再度検討する。

次回部会での検討に向け、  
地域や保護者の皆さんへ「臨時ニュース（※）」を  
配布し、情報発信と意見収集を行う。

※地域や保護者の皆さんには7月24日付「石山部会ニュース（臨時号）」としてお知らせしており、8月28日（金）までにご意見をお寄せいただくようお願いしています。

## 第3回の石山部会 について

第3回の石山部会は、皆さんから寄せられたご意見等も踏まえて、統合校の位置について再度検討を行うこととし、9月2日（水）の開催を予定しています。

■ ご意見・ご質問は、下記の検討委員会事務局までお寄せ下さい ■

石山・芸術の森地域 学校規模適正化検討委員会 事務局  
札幌市教育委員会 生涯学習部 学校施設課（学校規模適正化担当）  
〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 S T V北2条ビル  
T E L 011-211-3836 / F A X 011-211-3837  
E-mail gakkokibo@city.sapporo.jp

※ この検討委員会ニュースは、札幌市教育委員会ホームページにも掲載予定です。  
<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/kentoutiiki.html>